

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月19日		記入者		連絡先 2773
部 名	保健福祉部	課 名	地域福祉課	課長名	梅沢 道雄
事務事業名	社会福祉功労者表彰、『福祉月間』ポスター・作文募集事業				
予算上の事務事業名	社会福祉功労者、福祉作文等入賞者表彰費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11130	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第1節 福祉文化の創造とバリアフリーの推進				事業開始年度
施策名	第3施策 バリアフリーによる福祉のまちづくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
市社会福祉功労者表彰要綱、市社会福祉功労者表彰実施要領、『福祉月間』ポスター・作文募集事業実施要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
福祉月間事業の一環として、社会福祉の増進に功労があった者を表彰し、心のかよいあう明るいまちづくりを進める。 福祉に関するポスター・作文を募集し、市民の福祉啓発を行うとともに、優秀な作品を作成した者には賞状と記念品を贈る。			市民		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
市民福祉の集い第1部表彰式にて表彰 開催日 平成17年9月23日 (金・祝日) 場 所 市民会館ホール 表彰者数 社会福祉功労者表彰49名・2団体、福祉ポスター、作文入賞者24名 ポスター・作文各部の入賞者は「入選作品集」に掲載し、集いの来場者、市内の小・中学校へ配布する。 ポスターの入選作品は本庁舎ロビーに展示した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
類似事業：「ともしびポスター・ともしび絵本コンテスト」を(福)神奈川県社会福祉協議会が主催、「神奈川県福祉作文コンクール」を(福)神奈川県社会福祉協議会と(福)神奈川県共同募金会が共催し表彰を実施している。					
7 事業費の推移					[単位：千円]
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	930	1,007	1,131	1,027	1,027
一般財源	930	1,007	1,131	1,027	1,027
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,868	2,893	2,883	2,902	2,920
事業コスト合計	3,798	3,900	4,014	3,929	3,947
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	ポスター・作文募集事業			対象名称と単位	応募者数 (人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	2,002	2,012	1,978	2,035	2,088
対象数	2,034	1,487	1,380	1,480	1,580
単位あたり経費(円)	984	1,353	1,433	1,375	1,322
前年度比		1.37	1.06	0.96	0.96

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	作文の応募割合（％）	指標式と指標の説明	作文応募総数/ポスター・作文応募総数×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	61.4	18.4	14.5		
目標	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
目標達成度（％）	307.0	92.0	72.5		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	入賞者数（人）	指標式と指標の説明	4部門×6人		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	24.0	24.0	24.0		
目標	24.0	24.0	24.0	24.0	24.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		福祉月間事業の一環として市民の福祉に対する意識向上を図るため、事業の継続は必要である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
作文への応募数が年々減少傾向にあることから、標語など軽易で応募しやすいものへ変更することにより、福祉に対するより一層の意識向上を図る。また、審査時間の縮小による事務作業の効率化を図る。			県社会福祉協議会などでも類似事業を行っており、児童・生徒の負担を軽減するため、作文を標語等に変更するなど募集内容の見直しを図る必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		県社協で同様の作文コンクールを行っているのであれば、本市で実施している「福祉作文の表彰」は廃止の方向で検討する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			